

ダイワ/バリュー・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス

足元の運用状況と今後の見通し

2026年6月26日

お伝えしたいポイント

- 中国ヘルスケアセクターは薬価下落や米規制懸念から軟調に推移
- 高齢化の進展や政策支援を背景に中国ヘルスケア企業の中長期的な成長を見込む

※当資料は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドが提供するコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

足元の投資環境と運用状況について

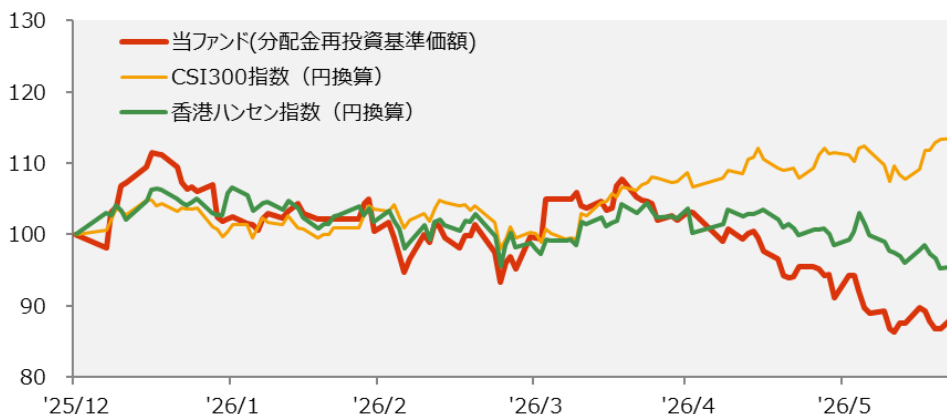
■ 足元の市場環境：中国本土株は上昇するも、香港株は下落

中国株式市場は、2026年初はハイテク関連の堅調さを背景に上昇したものの、その後は米国でのハイテク株安や貴金属価格の急落、中東情勢の緊迫化を背景とした市場心理悪化を受けて、3月下旬にかけて下落しました。4月には米国とイランが2週間の停戦合意に達したことを好感し、反発しました。その後はハイテク株主導で中国本土市場については上昇したものの、米利下げ観測の後退や中国当局による越境証券取引規制の強化などが重しとなり、香港市場は軟調に推移しました。

為替は、中国政府による通貨高の容認姿勢などを受けて中国人民元が対米ドルで上昇したことや、日銀の利上げ観測後退や中東情勢を背景に円安米ドル高が進行したことなどから、中国人民元・香港ドルは対円で上昇しました。

■ 当ファンドと中国株価指数の推移

(2025年12月30日～2026年6月22日)



※始点を100として指数化。※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※CSI300指数、香港ハンセン株価指数は、当ファンドのベンチマークではありません。※円換算は、前営業日の指数値に当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて算出しています。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) Bloomberg

■ 当期の運用状況：為替が対円で上昇するも、ヘルスケアセクターが下落し、軟調に推移

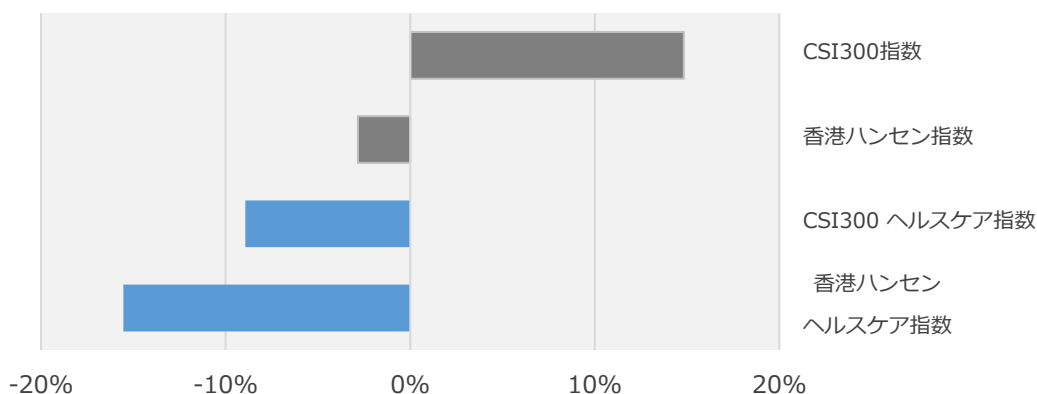
当ファンドの基準価額は、中国人民元や香港ドルが対円で上昇したことはプラス要因でしたが、ヘルスケアセクターが下落したことがマイナス要因となり、2025年末比で下落しました。市場ではAI（人工知能）関連のテック企業が選好された中、ヘルスケアセクターについては、集中購買による薬価下落やバイオ分野における米国の規制懸念などが重しとなり、市場を下回りました。

保有銘柄では、世界的なバイオテクノロジーの研究開発費増加や製薬関連のアウトソース需要の高まりを背景に堅調な決算内容の発表が好感された医薬品開発製造受託大手の株価が上昇しました。一方、主力薬に関する良好な臨床データが示された一方で、グローバルでの有効性に対する慎重な見方が優勢となったことから、バイオ医薬品メーカーの株価は下落しました。

ポートフォリオでは、中国ヘルスケアセクターにおいて魅力度が高い個別銘柄に着目し、運用を行いました。足元では医薬品メーカーを高位に組み入れています。引き続き政治リスクに留意しつつ、優良銘柄にフォーカスした運用を行っています。

■ 中国株式市場・ヘルスケアセクターのパフォーマンス

(2025年12月29日～2026年6月19日)



※トータルリターン、円ベース。CSI300指数、香港ハンセン指数、CSI300ヘルスケア指数、香港ハンセンヘルスケア指数は、当ファンドのベンチマークではありません。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) Bloomberg

注目トピック：第15次5カ年計画ではバイオ医薬分野を国家の戦略的重点分野に位置づけ

2026年3月には、2026年から2030年の取り組みや目標を定めた中国の第15次5カ年計画が正式決定されました。第15次（2026-2030年）では、「新質生産力※」を支える新興・先端産業の一つとして位置づけられ、AI・半導体などの先端分野とともに、バイオ医薬分野も戦略的に重要な領域であることが示されました。近年、中国においてバイオ医薬分野では創薬初期の開発力向上を背景に海外製薬企業へのライセンスアウトが活発化しており、技術力の蓄積と収益機会の拡大が進んでいます。研究開発に加え製造能力や産業基盤の強化を通じてバイオ産業全体の競争力向上が図られており、今後も継続的な政策支援が見込まれます。

※イノベーション主導で高度な技術・高効率・高い品質という特徴を備えた先進的な生産力。

注目銘柄：ウーシー・バイオリジクス

業種：ヘルスケア

保有比率：4.8%（2026年5月末時点）

新薬発見から臨床試験、製造までを一貫して請け負うバイオ医薬品の開発製造受託会社。二重特異性抗体や抗体薬物複合体（ADC）に関連した技術に強みを持ち、中国市場および北米、ヨーロッパとその他の市場などの海外市場において事業を展開しています。

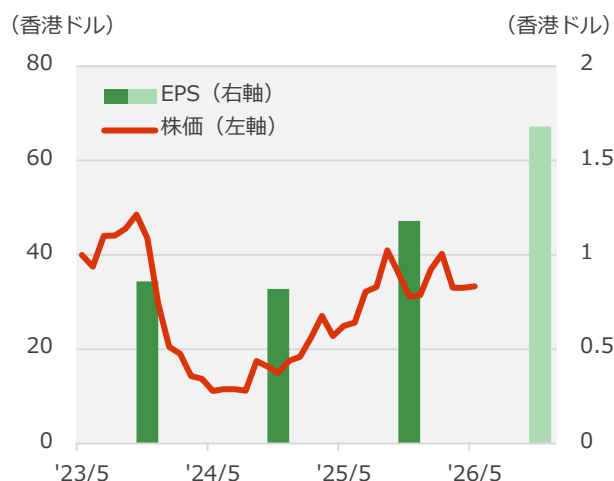
高付加価値な抗体医薬（双特異抗体やADC）の需要拡大に加え、創薬投資の拡大やバイオ医薬の高度化に伴う外部委託ニーズの増加を背景に、医薬品の開発・製造受託の需要拡大が見込まれることから、今後の成長が期待されます。

今後の見通し

中国株式市場について、AI（人工知能）・半導体分野の成長や当局の政策支援への期待などを背景に底堅い推移を見込んでいます。また、今後は企業業績に一層注目が集まると考えており、株価上昇を支える重要な要素になるとみています。

ヘルスケアセクターについては、短期的には病院の設備投資の減速や消費者心理の低迷を受けたOTC医薬品・漢方薬需要への影響が懸念されるものの、中長期的には高齢化の進展や医療需要の拡大を背景とした成長を見込んでいます。また、当局はバイオ医薬を含む戦略的産業への支援を強化しています。第15次5カ年計画（2026～2030年）においては、バイオテクノロジーを国家の戦略的重点分野に位置づけており、継続的な政策支援が見込まれます。5月には、米国が中国バイオ企業とのライセンス取引を規制対象に含める可能性について懸念が広がりました。ただし、当該政策は初期段階の議論に過ぎず、規制の意図は米国の技術の保護にあることなどから、影響は限定的であるとみています。

株価とEPS（1株当たり利益）の推移



株価：2023年5月31日～2026年5月31日、月次
 EPS：2023年～26年
 ※2026年のEPSは2026年6月23日時点のBloomberg予想値（出所）Bloomberg

運用方針

当ファンドは、中国における高齢化、ヘルスケア関連サービスの消費成長余地、イノベーションの加速などの成長ドライバーに注目し、①業界のリーディング企業、②新薬の開発能力、③実用化可能性の高さ、パイプラインを重視し、徹底した企業調査を通して投資対象を厳選しています。このような銘柄選択重視の投資戦略は、中国株式市場の不確実性と向き合う上で重要だと考えています。

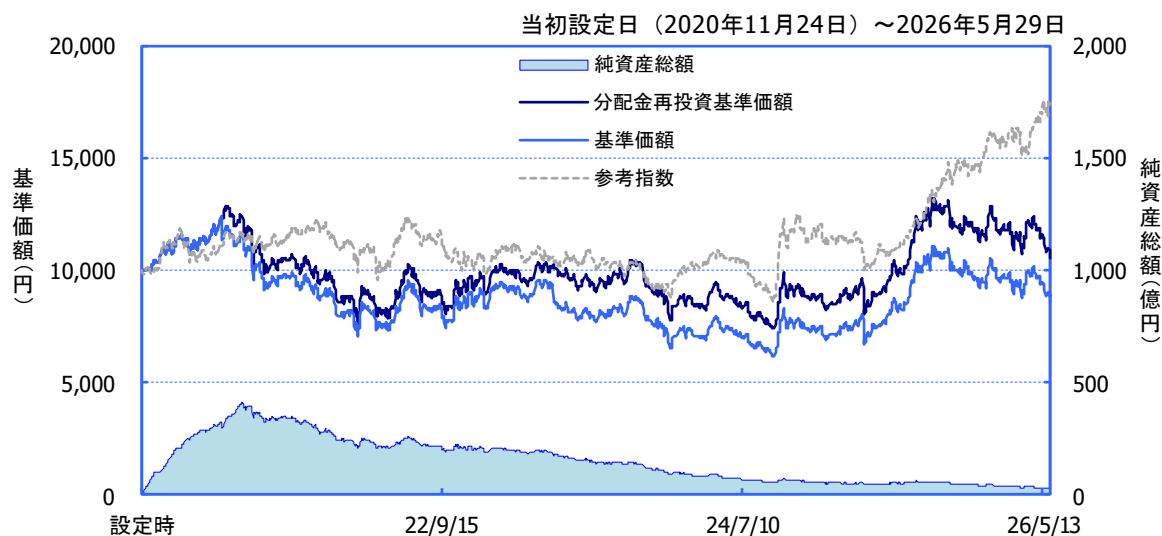
高齢化と所得の増加によるヘルスケア分野の消費額の増加という長期的な成長トレンドや、医療需要・消費環境の改善などを背景に、ヘルスケア企業は業績の回復が見込まれています。また、中国政府がヘルスケア企業にポジティブな政策を発表するなど、同分野の成長を促進する動きが見られます。ヘルスケアセクターは政策の影響を大きく受けることから、政府が支援姿勢を示していることは成長期待を後押しすると考えています。

足元では、高い技術力による競争力と収益力の拡大を追い風に、海外でのライセンス契約・提携が加速しているバイオテクノロジー関連銘柄に注目しています。また、中国において健康意識が高まる中、主要な中医学（中国の伝統的な医学）企業についてもポジティブな見方を継続しています。

引き続き、政策を含めたマクロ環境の変化と企業のファンダメンタルズ双方に注視しながら運用を行っています。

基準価額・純資産の推移(2026年5月29日時点)

| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 8,588 円 |
| 純資産総額 | 28億円 |



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※参考指数はMSCI China A Index（税引後配当込み、円換算）です。運用成績と比較するベンチマークではありません。
 ※グラフ上の参考指数はグラフの起点時の分配金再投資基準価額に基づき指数化しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ※設定後10年以上が経過した場合、掲載するグラフの期間は直近約10年間としています。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

ポートフォリオの状況（2026年5月末時点）

《バリュー・パートナーズ・ヘルスケア・ファンド(クラスX)の資産構成》 ※比率は組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※以下の資産構成は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの提供するデータを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

| 業種別構成 | | 市場別構成 | | 通貨別構成 | |
|------------|----------|---------|----------|--------|----------|
| 業種名 | 合計100.0% | 市場名 | 合計100.0% | 通貨名 | 合計100.0% |
| ヘルスケア | 96.3% | 香港市場 | 72.1% | 香港ドル | 73.8% |
| 生活必需品 | 1.2% | 上海A株市場 | 14.5% | 中国・人民元 | 25.4% |
| 一般消費財・サービス | 0.2% | 深センA株市場 | 10.3% | 米ドル | 0.8% |
| | | 米国市場 | 0.8% | | |
| 現金等 | 2.3% | 現金等 | 2.3% | | |

組入上位10銘柄 合計60.9%

| 銘柄名 | 市場名 | 業種名 | 銘柄概要 | 比率 |
|-------------------------|--------|-------|---|------|
| ビーワン・メディシズ | 香港市場 | ヘルスケア | バイオ医薬品メーカー。分子構造に基づいたがん治療薬・がん免疫薬の開発、販売に注力する。血液がん治療薬が米食品医薬品局（FDA）からも承認されるなど、高い水準の安全性、効果、製造品質が認められている。 | 9.3% |
| ジャンサー・ハンルイ・ファーマシューティカルズ | 上海A株市場 | ヘルスケア | 中国大手製薬企業。各種医薬品およびその容器を開発、製造、販売している。がん治療薬、手術用医薬品などのサプライヤーとして知名度があり中国国内及び海外市場で事業を展開している。 | 8.4% |
| ウーシー・アップテック | 香港市場 | ヘルスケア | 医薬品の開発、治験、製造に関する受託サービスなどを行うCRDMO（研究開発製造受託機関）大手。世界の医薬品大手は研究開発活動やアウトソーシングを活発化させており、新規受注の増加が見込まれる。 | 7.5% |
| イノベント・バイオリジクス | 香港市場 | ヘルスケア | ガンなどの治療薬の研究開発、販売などを手掛ける。同社のPD-1はすでに中国医療保険適用リストに収録され、これから臨床試験を経て肝臓がんなど十数種類のガンの治療に使われる予定であり、今後の成長ドライバーとして期待される。 | 7.3% |
| アケソ | 香港市場 | ヘルスケア | 主に生物製剤の研究開発を行う中国のバイオテクノロジー企業。腫瘍学、免疫学及びその他の治療分野における医療ニーズへ対応している。世界中で創薬、医薬品開発事業を展開している。 | 7.0% |
| ウーシー・バイオリジクス | 香港市場 | ヘルスケア | 新薬発見から臨床試験、製造までを一貫して請け負うバイオ医薬品の開発受託会社。二重特異性抗体や抗体薬物複合体（ADC）に関連した技術に強みを持つ。中国市場および北米、ヨーロッパとその他の市場などの海外市場において事業を展開。 | 4.8% |
| アシムケム・ラボラトリーズ・テンシン | 香港市場 | ヘルスケア | 中国のCDMO（医薬品開発製造受託）企業。抗ウイルス、感染症、糖尿病など向けに小分子医薬品を研究、製造、販売する。世界各地で事業を展開。 | 4.4% |
| CSPCファーマスーティカルグループ | 香港市場 | ヘルスケア | 医薬品メーカー。脳卒中、高血圧などの治療薬に強みを持ち、認知症やがんの治療薬もカバー。ジェネリック医薬品のみならず、新薬の開発力強化に注力しており、パイプラインも豊富。 | 4.4% |
| アビスコ・ケイマン | 香港市場 | ヘルスケア | がん治療薬の研究開発に特化したバイオ医薬品企業。分子標的薬（特定の分子にだけ作用するように設計された治療薬）の開発に注力している。 | 4.3% |
| シノ・バイオフーマシューティカル | 香港市場 | ヘルスケア | 医薬品の開発及び製造を手掛ける中国医薬品大手企業。通常の医薬品から漢方薬の分野まで幅広く展開しており、特に悪性腫瘍や肝疾患の分野で高い競争力を有する。 | 3.5% |

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※市場名は、バリュー・パートナーズ香港リミテッドの分類によるものです。

※上記データは、基準日時点（現地）のデータを記載しています。

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。

※上記は組入銘柄の一部を紹介するものであり、個別銘柄の推奨を目的としたものではありません。

※同一企業でも別市場に上場している場合は、別の銘柄として扱います。

本ファンドは、MSCI Inc.（「MSCI」）によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。〔<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>〕

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 中国のヘルスケア関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- 中国のヘルスケア関連企業の株式に投資します。
- 中国株式の運用はバリュー・パートナーズ香港リミテッドが行ないます。
- 毎年 5 月 23 日および 11 月 23 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

| | |
|--------------------------|---|
| 株価の変動 (価格変動リスク・信用リスク) | 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。 当ファンドは、一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があり、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。また、特定の分野に関連する銘柄に投資しますので、こうした銘柄の下落局面では、基準価額が大きく下落することがあります。 |
| 為替変動リスク | 外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。 |
| カントリー・リスク | 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となる場合があります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。 中国への投資には、政策の変更等により株式市場や為替市場に及ぼす影響が先進国以上に大きいものになることが考えられます。 |
| その他 | 解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。 |

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

〔中国 A 株投資に関する留意点〕（2025 年 11 月末現在）

- 上海と香港、深センと香港の株式相互取引制度（ストックコネクト）を通じた中国 A 株への投資においては、取引額や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、中国 A 株への投資の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- QFII 制度または RQFII 制度を通じた中国 A 株への投資においては、その制度上の規制の制約を受けます。

- 株式相互取引制度やR Q F I I 制度における取引通貨はオフショア人民元となり、中国全土における人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。そのような場合、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
- 中国政府当局は、その裁量で中国の外貨収支残高状況等を理由とした政策変更等を行ない、中国国外への送金規制や円と人民元の交換停止などの措置をとることができます。その場合には、信託財産における円と人民元の為替取引が予定通り行なえない可能性があります。
- 中国国内における収益に対し課税されることとなった場合には、当ファンドがこれを実質的に負担する可能性があります。
- 中国の証券関連投資の法令は近年制定・改正されるものが多く、その解釈は必ずしも安定していません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 当ファンドは、忠実義務に基づき、投資する投資信託証券について、その価格が入手できない、または入手した価格で評価すべきでないと考えられる場合には、適正と判断する直近の日の価格など当社が時価と認める価格で評価することがあります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

| | 料 率 等 | 費 用 の 内 容 |
|-------------|---|--|
| 購 入 時 手 数 料 | 販売会社が別に定める率 (上限) <u>3.3%(税抜3.0%)</u> | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — |

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

| | 料 率 等 | 費 用 の 内 容 | |
|---------------------------------------|-------------------------|---|--|
| 運 用 管 理 費 用 (信 託 報 酬) | 年率1.7985% (税抜1.635%) | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。 | |
| 配 分 (税抜) (注1) | 委託会社 | 年率0.89% | ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。 |
| | 販売会社 | 年率0.72% | 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。 |
| | 受託会社 | 年率0.025% | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。 |
| 投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点) | 年率0.13%程度 | 投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。 | |
| 実質的に負担する 運 用 管 理 費 用 (目論見書作成時点) | <u>年率1.9285%(税込)程度</u> | | |
| そ の 他 の 費 用・ 手 数 料 | (注2) | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 | |

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ

| | |
|------------------------|---|
| 購入単位 | 最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり） |
| 購入代金 | 販売会社が定める期日までにお支払い下さい。 |
| 換金単位 | 最低単位を1口単位として販売会社が定める単位 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり） |
| 換金代金 | 原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。 |
| 申込受付中止日 | ① 中国の銀行、香港の銀行またはダブリンの銀行の休業日 ② 香港の銀行の休業日（土曜日、日曜日および委託会社の休業日を除きます。）の前営業日 ③ ダブリンの銀行の休業日（土曜日、日曜日および委託会社の休業日を除きます。）の前営業日 ④ 香港の銀行の休業日（土曜日、日曜日および委託会社の休業日を除きます。）の前々営業日 ⑤ ①②③④のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。 |
| 申込締切時間 | 原則として、午後3時30分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。 |
| 換金制限 | 信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。 |
| 購入・換金申込受付 の中止および取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。 |
| 繰上償還 | <ul style="list-style-type: none"> ● 主要投資対象とする組入外国投資証券が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。 ● 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・受益権の口数が30億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき |
| 収益分配 | 年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。 |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。 |

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

加入協会

※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

Daiwa Asset Management

ファンドに関するお電話でのお問い合わせ

☎0120-106212

(受付時間：営業日 9：00～17：00)

※お客様のお取引状況・その他口座内容に関するご照会はお取引先の銀行、証券会社等の金融機関にお問い合わせください。

URL <https://www.daiwa-am.co.jp/>

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

ダイワ/バリュー・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス

| 販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名） | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------------------------|----------|-----------------|---------|-------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 資産運用業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会 |
| OKB証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長(金商)第191号 | ○ | | | |
| 大和証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第108号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。